

平成26年(2014年)5月26日

冷 凍 食 品 新 聞

アサヒロジ
東北に拠点開設
売上200億円超へ

アサヒロジステイクスは4月23日、東京・西新宿のハイアトリージョンシーで第61期経営計画発表会を開き、取引先121人など317人が出席した。今回から第一部に表彰式を設け、優秀拠点表彰、ベストドライバー・永年勤続者の表彰などを行った。このうち、改善事例集優秀拠点表彰は、取手営業所、越谷営業所が受賞。自主管理経営優秀拠点表彰は、横浜共配センター、越谷営業所が受賞した。

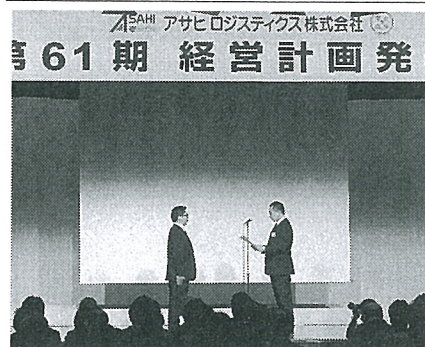
第二部の発表会では、横塚元樹社長が経営方針を発表。前期(第60期)実績は、



横塚社長

売上高193億円(前年比12%増)、今期は売上高216億円(同12%増)、経常利益も2ケタ増を目指すとした。

説明に当たった横塚社長は、「前期は新潟県長岡市に、甲信越配送網の共配ネットワーク中核拠点となる新潟物流センターを開設し、現地スーパー74店舗のドライクロサリーセンターとして稼働を開始した。こ



計画発表会に317人

特に、「我々が今の業務を着実に続けるには、ボトルネックは人財。成長と安定の両立には人財の質と量の確保が最も

の配送業務を担う子会社デリースタッフ新潟営業所も併せて開設し、関東から「東日本のアサヒ」へと歩を進めている。相模原のCVS配送もスタートし、日配店舗数は現在、約1万店

東北初の拠点を仙台に開設する。関東一円、東日本、その先でも我々がしっかりやれるということを示していく。平成30年までに東日本全域の共配ネットワークの実現と、売上300億円、経常利益20億円を目指す」とした。

舗となった。震災以降、東北、甲信越での依頼が増加しており、当社に求められる役割も大きくなっている。日配1万店の会社としては、1日約500万人分の食料を配送しているということであり、今既に日本の食生活を支える物流インフラ企業となっている。今期は、

大切であり、人財育成が欠かせない。また、(人手が足りないための)チャンスロスをしていないよう体制整備をする」とした。

続いて、今年4月1日に新たに制定した経営理念の3カ条「一、日本一安全で品質の高いサービスを提供し、日本中の家族を豊かにします。二、CS(ESE)CSを実現し、お客様と我々の生活を豊かにします。三、物流業界を、誰もが働きたいと思える憧れの業界にします」、および行動基準6項目を発表の上で、第61期スローガン「原点回歸」私たちは新経営理念を理解し、アサヒブランドの確立に向けて行動します」を唱和した。

訂正 本紙5月19日付け「創刊45周年特集号」名刺広告で、(株)ほんだ社長本多靖司は、(株)ほんだ社長中本靖司の誤りでした。お詫びして訂正します。